

12/28
泉民福#

プリペイドで利用明細確認

大阪市 生活保護費の浪費防止

大阪市は27日までに、生活保護受給者にプリペイドカードを貸与し、保護費の一部を入金する事業を試験的に行うと発表した。カード会社と連携し、市が利用明細を確認、受給者の浪費を防ぐのが目的。ただ対象は希望者のみで、どのぐらいの受給者が応じるかは不透明だ。

市によると、生活保護費

をプリペイドカードで支給するのは全国で初めて。来年2月から利用者の募集を始め、約2000世帯を対象に、半年から1年程度実施する。

利用者は生活保護費のうち生活扶助分を毎月3万円受け取り、カードの加盟店で買い物ができる。市の担当職員は金銭管理に難がある受給者の明細を照会で

き、お金の使い方の指導に役立てる。

市は2016年度の本格実施に向け、利用状況を検証し、特定業種に対する使用制限や1日当たりの利用限度額を設けるなど、カードに機能を追加することを検討する。

市によると、14年11月の時点で、市の生活保護受給世帯は約11万7500、生活保護率は約5.4%でともに政令指定都市の中で最も高い。市はギャンブルや過度な飲酒などで保護費を浪費する受給者が減るような支援策を検討していた。